

折り鶴に託された思いを昇華させるための 取組を実施する市民等への折り鶴の配付について

1 目的

平和記念公園の「原爆の子の像」に捧げられる折り鶴に託された思いを昇華させるための取組を主体的に実施する市民等に折り鶴を配付することにより、昇華の取組への市民参画を促進し、平和への思いを共有するまちの実現に資することを目的とする。

2 実施内容

(1) 配付の対象

折り鶴に託された思いを昇華させるための方策検討委員会がとりまとめた「折り鶴に託された思いを昇華させるための方策について（最終とりまとめ）」の趣旨に沿った取組を実施する個人又は団体を対象とする。

（別添「最終とりまとめ」概要版を参照）

(2) 申込方法

折り鶴の配付を希望する者は、所定の申請書及び実施計画書に必要事項を記載し、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により市に提出する。

（申請書は平和推進課、区役所等で配布。市ホームページからダウンロードも可能。）

(3) 配付の決定

申請書類の内容を審査し、取組の目的及び内容が適正であると認められる場合は、折り鶴の配付を決定し、申請者に通知する。

(4) 折り鶴の配付

ア 原則として保管している袋詰めの状態（1袋約 13,000羽、約 11kg）で配付する。

イ 関係法令等に基づく手続きを経なければならない取組については、所定の報告書の提出を求め、手続きの完了を確認した後に折り鶴を配付する。

ウ 折り鶴の配付に伴う輸送経費は、予算の範囲内で広島市が負担する。

3 受付開始時期

平成 24 年 5 月 1 日

折り鶴に託された思いを昇華させるための方策について(最終とりまとめ)【概要版】

(折り鶴に託された思いを昇華させるための方策検討委員会/平成24年2月)

◎ 方策のコンセプト (基本理念)

折り鶴に託された平和への思いを共有し、新たな「思い」として継承

折り鶴を捧げた人々の平和を願う思いが、様々な過程を経て、広島市民をはじめ世界の多くの人々の心に刻まれ、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う輪が広がり、さらに、新たな「思い」として継承される方策を目指す。

◎ 取組の方向性

昇華の方法については、特定の方法に固定化せず、次に掲げる方向性の中で、目的や手段、用途などを総合的に勘案しながら取組を推進するとともに、時代のニーズに合わせてリニューアルしていくことが望ましい。

平和への思いの継承、発信

- ・ 被爆の惨状から再生した広島への使命として、世界中の人々の思いのこもった折り鶴を平和のツールとして発信し、平和を願うメッセージを発信することにより、折り鶴に託された思いが、さらに大きな普遍的な思いとして広がるような取組を推進する。
- ・ 折り鶴の美しい色や形を活かし、折り鶴寄贈者の思いを目に見える形で分かちやすく伝えることで折り鶴に託された思いを共有し、次世代への被爆体験の継承・伝承につながるような取組を推進する。

地域や立場を超えた心の循環

- ・ 身近な人を大切にすることなど広島の意味での平和を学び、訴え、実感できるような取組や、平和への架け橋となるような交流、ESD (社会の課題と身近な暮らしを結びつけ、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動) に結びつくような取組を推進する。
- ・ 過去の苦しみを知っている広島だからこそできる恩返し、現代の課題に結びつけ将来につながるような新しい循環の創出といった観点から、広島発の国際協力・国際貢献の仕組みを構築する。
- ・ 障害者の就労支援や障害者の社会参加につながるような仕組みの構築や、高齢者などに生きる力や勇気を与えるような活用を図る。

広島発の新たなブランドや観光資源の創出

- ・ デザイン性に優れた折り鶴のロゴを昇華・選定し、「昇華」を象徴するマークを広島発の新たなブランドとして浸透・定着させることにより、個々の取組の発信力や価値を高めるとともに、CSR (企業の社会的責任) 重視の企業参画を促進する。
- ・ 折り鶴再生の過程などを修学旅行生や子どもが参加できる折り鶴再生等の体験型プログラムを構築するなど、観光資源としての付加価値を高める。
- ・ 世界恒久平和への祈りを込めた焚き上げや折り鶴のポルキュム展示など、メッセージ性が高く、視覚的なインパクトを兼ね備えたシンボリックなイベントの開催に努める。

◎ 取組の進め方

取組を推進するに当たっては、「昇華」のプロセスの範囲や流れを明確にしたうえで、市民をはじめできるだけ多くの人が主体的に参画できるような環境づくりや、経済性も考慮した持続可能な取組とするための仕組みの構築などに意を用いながら、実効性のある取組として展開していくことが重要である。

市民主体の取組の推進

- ・ 折り鶴に託された思いをより多くの市民が共有し、市民活動として根付くことが重要であり、一定の基準を設けて「昇華」の趣旨に合致する取組の実施主体に折り鶴を託す、象徴的な取組の提案を公募により実施するなど、取組のプロセスへの積極的な市民参画を促進する。
- ・ 平和教育の一環として学校との連携を図るとともに、アジア競技大会時の一館一団運動のような地域に密着した機運の醸成や現在活動している団体のネットワークの活用を図るなど、市民レベルでの活動の輪を広げる。
- ・ 自由な発想で事業の検討や実施・運営を担うボランティアを募集するなど、市民の手によるムーブメントを展開する。
- ・ 障害者就労支援施設や関係団体等と連携し、折り鶴を通じた障害者の社会参加や地域交流を促進する。

持続可能な取組とするための仕組みづくり

- ・ 折り鶴を古紙や再生紙商品などとして売却した資金や寄付金付きの折紙による収益を基金として積み立てるなど、平和貢献事業に活用するためのファン드를創設し、財源として活かす仕組みを検討する。
- ・ 折り鶴の再生やイベントをはじめとして、経済が循環するよう手法を積極的に取り入れることにより、市民の意識をより高め、息の長い事業とすることを旨とする。

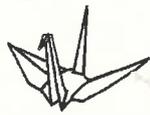
折り鶴寄贈者等の心情への配慮

- ・ 焚き上げなどの方法により「昇華」する場合は、折り鶴を捧げた子どもたちや被爆者などの気持ちに配慮し、実施方法を慎重に検討する。

◎ 実施方法と効果・課題の検証

市民から募集したアイデア・意見及び事業の試行実施の結果などを基に、具体的な実施方法を例示するとともに、それぞれの効果と課題を整理すると次表のとおりとなる。

区分	概要	効果	課題
再生紙	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴を溶解し、平和の思いが共有できる物や平和のメッセージの発信につながる物に再生し、希望者や国内外の子どもたちに販売・寄贈する。 寄贈団体などへのお礼状などに活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> メッセージ性を付加することにより、新しく形を変えて平和への思いを伝えていくことができる。 再生品の種類や実施方法の工夫などにより、平和の思いを伝える多様な事業を展開することができる。 平和学習のカリキュラムや修学旅行の体験プログラムとして、次世代に被爆体験を継承・伝承することができる。 資源の有効活用を図ることができ、環境啓発にもつながる。 実施方法により、障害者の就労支援や地域産業の活性化などに寄与することができる。 折り鶴を古紙として売却した資金などによるファンダを創設することにより、平和貢献事業としての可能性が広がり、折り鶴再生のための財源の確保も期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生処理に先立ち、原則として、糸や止め具など不織物の除去作業などが必要となる。 再生化には相当のコストを要するため、事業協力者や財源の確保を図る必要がある。 再生した物が粗末に扱われることのないよう対策を検討する必要がある。
熨ぎ上げ	<ul style="list-style-type: none"> 平和を折るせしめとして熨ぎ上げを行う。 平和の思いを込めたとんど焼きやキヤンプアファイヤーなど地域や学校などの協力を得て実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 形ある「折り鶴」が形なき思い「思い」として昇華されることにより、平和への思いが世界に広がっていくことが期待できる。 広島に定着した一大イベントとして実施すれば、平和のメッセージの大きな発信力となり、観光客の誘致にもつながる。 地域を巻き込むことで、一つ一つの取組は小さくても、市全体として平和意識を高揚する大きなムーブメントを創出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴を捧げた子どもたちや被爆者などの気持ちに配慮し、実施方法を慎重に検討する必要がある。 火災予防のための必要な準備や、近隣から苦情が出ないよう適切な実施に当たった際の検討課題が多い。
展示	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設や駅・空港などの交通結節点、企業や商業施設、宿泊施設など人が多く集まる場所に展示する。 国内外の学校、希望する自治体や団体などで展示してもらう。 折り鶴ブースに一定期間展示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 広島市民をはじめ、広島に来る機会のない世界の多くの人々にも平和を願う思いを伝えることができる。 様々な地域や場所で展示されることにより、多くの人に平和都市広島を印象付けるとともに、平和について考えってもらう機会が増え、折り鶴を通して広島の新たなイメージの構築につながる。 メッセージ性と視覚的なインパクトを兼ね備えたシンポリックなイベントとして実施することにより、平和への思いの発信と観光客の誘致につながる。 折り鶴ブースに一定期間展示することにより、折り鶴寄贈者の思いやメッセージを受け止められる機会とすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 展示を終了した後の折り鶴については、展示の主催者が責任を持って適切に取り扱う必要がある。 折り鶴の長期保存を前提とする旧日本銀行広島支店の展示は、折り鶴寄贈者の意向を踏まえ、見直しが必要がある。
記念品・寄贈	<ul style="list-style-type: none"> 数羽程度に小分けした折り鶴を記念品やお土産として来広者や平和記念式典参加者などに配布・販売する。 学校や来訪のVIP、世界の国や都市などに寄贈する。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴の形のまま不特定多数の人の手元に渡ること、目に見える形で平和の思いを永く共有することができる。 お土産として購入者から家族や友人などに贈られることで平和の思いが繋がりを循環していく。 広島を訪れることができずとも平和のメッセージを届けることができる。 寄贈先の団体などとの交流の契機となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄贈された折り鶴が粗末に扱われることのないよう、有機化や配付先の限定など、実施方法を工夫する必要がある。 記念品として加工するための作業が必要となる。 多数の団体や遠方の地域に送付する場合は、相当の輸送費が必要となる。
その他の加工 焼却灰の利用	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴を再生紙以外のものに加工し、記念品やモニュメントとして再生する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源の有効活用になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 加工技術や商品化などの研究開発や経費の検証など、実現可能性の検討に相当の期間を要する。
焼却処分	<ul style="list-style-type: none"> 再生できない折り鶴や展示などの過程を経た折り鶴を焼却する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大量の折り鶴の処理が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴を捧げた子どもたちや被爆者などの気持ちに配慮し、実施方法を慎重に検討する必要がある。 「昇華」のコンセプトに合致する過程を経て実施する必要がある。
イベント	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴を活用し、平和への祈りと願いを兼ねたイベントを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントに参加し折り鶴に託された思いを受け止めた多くの人が、平和について考え、行動する契機を得ることになる。 広島県の新たな観光・文化とすることで、地域の活性化や修学旅行・観光客などのビジターの誘致につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 短期間のイベントのために相当の労力と経費を要する。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴の写真・映像などを寄贈者名とともに記録・公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り鶴の名前やメッセージなどをホームページで公開している現行の「折り鶴データベース」に折り鶴の写真・映像などを付加する場合、膨大な労力を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄贈者の名前やメッセージなどをホームページで公開している現行の「折り鶴データベース」に折り鶴の写真・映像などを付加する場合、膨大な労力を要する。



折り鶴に託された思いを昇華させる

取組を実施する市民等に折り鶴を配付します

平和記念公園の「原爆の子の像」に捧げられる折り鶴には、平和への思いと祈り、夢や願いが託されています。折り鶴を捧げた人々の平和を願う思いが、様々な過程を経て世界の多くの人々の心に刻まれ、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う輪が広がり、新たな「思い」として継承されるような、折り鶴に託された思いを昇華させるための取組を主体的に実施する市民等に折り鶴を配付します。

配付の対象

折り鶴に託された思いを昇華させるための方策検討委員会がとりまとめた「折り鶴に託された思いを昇華させるための方策について（最終とりまとめ）」の趣旨に沿った取組を実施する個人又は団体を配付対象とします。（別添「最終とりまとめ」概要版、裏面を参照してください。）

配付対象とならないもの

- ✖ 公の秩序又は善良な風俗を乱す恐れがあると認められるもの
- ✖ 特定の宗教の普及宣伝活動、政治活動又は選挙活動であると認められるもの など

申込方法

所定の申請書及び実施計画書に必要事項を記入し、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により下記の申込先へ提出してください。申請書は市ホームページからダウンロードもできます。

主な記載事項

- ◆ 目的や効果、実施日時・場所、配付された折り鶴の使い方など取組の具体的な実施内容
- ◆ 取組の実施に当たり、折り鶴を捧げた人々や被爆者の心情に配慮するために行うこと
- ◆ 関係法令等に基づき、経なければならぬ手続き
- ◆ 取組の着手から完了までの実施スケジュール

※ 記載された個人情報の取り扱いについては、広島市個人情報保護条例に基づき、折り鶴の配付及びこれに付随する事務連絡のみに使用し、ご本人の同意なく第三者に提供しません。

配付の決定

申請書類の内容を審査し、目的及び実施内容が適正であると認められる場合は、折り鶴の配付を決定し、通知します。

- ！ 配付決定後、必要に応じて取組に関する経過報告を求めるなど、実施状況等を調査する場合があります。
- ！ 実施状況等調査の結果、最終とりまとめの趣旨に沿って適切に実施されていないと認められた場合、必要な措置を採ることや、配付した折り鶴の返還を求めることがあります。

折り鶴の配付

折り鶴を配付する日時・場所等を協議のうえ、原則として袋詰めの状態（1袋約 13,000 羽、約 11kg）で配付します。なお、関係法令等に基づく手続きを経なければならぬ取組については、配付決定後、所定の報告書を提出していただいたうえ、手続きの完了を確認した後に折り鶴を配付します。（折り鶴の配付に伴う輸送経費は、予算の範囲内で広島市が負担します。）

報告書の提出

取組の終了後は、所定の実施報告書を提出してください。

申込・問い合わせ：広島市市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号(広島国際会議場3階)

TEL:082-242-7831 FAX:082-242-7452 電子メール:peace@city.hiroshima.jp

HP: 広島市ホーム > 原爆・平和 > 被爆体験や平和への思いの共有

> 折り鶴に託された思いを昇華させるための取組 > 昇華に取り組む市民等に折り鶴を配付します

平成 23 年度に試行実施した昇華の取組をご紹介します

とうろう流しの色紙に再生・流灯

「ピースメッセージとうろう流し」において、8基のとうろうの色紙(和紙)に折り鶴再生紙を使用し、原爆死没者への慰霊や平和への祈りを込めて川に流しました。



障害者就労支援施設での折り鶴の選別



折りを込めて流灯(元安川)

ひろしま市民芸術祭 2011

～折り鶴でつなごう! 平和の心～

学生や市民が共同して折り鶴のモザイクアートを制作し、平和記念公園に展示するセレモニーなどを通して折り鶴に託された平和への思いを広く発信しました。



折り鶴モザイクアート(ピース)の制作



平和記念公園に展示(原爆の子の像)

平和・環境ワークノートの提供

折り鶴再生紙で平和と環境について学べるワークノートを作成し、県内の小学生に提供しました。

また、折り鶴の解体・分別作業及び紙すき体験イベントも実施しました。



出来上がった折り鶴再生ノート



紙すき体験でハガキづくり

ANAボーイング787 ドリームライナー広島～羽田 就航記念セレモニー

新型旅客機「ボーイング787」の初就航を出迎えるセレモニーの一環として、折り鶴ウェルカムボードを広島空港内に設置し、1か月間展示しました。



ウェルカムボード制作イベント



初就航の乗客をお出迎え